

わたしたちの街に新しい発見

ふ♡れ♡あ♡い

いかた

4月号

No.12
平成18年
4月1日発行

生涯学習だより

発行■伊方町教育委員会 編集■生涯学習課 印刷■(株)豊予社

平成17年度 二名津中学校卒業証書授与式



卒業生答辞 堀本耕平さん

3月17日(金)、二名津中学校(井上靖校長)で卒業式が開催されました。最後となる卒業式は今年度で59回を数え、11名(男子5名・女子6名)の三年生が学舎を後にしました。二名津中学校は昭和22年創設、59年間の輝かしい歴史に幕が閉じられました。(昭和22年～神松名中学校、昭和37年～現二名津中学校と改称)4月からは三崎中学校に統合されます。

今月の主な紙面

- 町レクバレー交流大会
- 町見郷土館から
- 公民館だより
- 佐田岬民俗ノート
- ピッカピカ一年生
- 図書館だより
- 公民館学級・講座のご案内
- 人権学習シリーズ
- 学校通信
- 広報 文芸
- 伊方スポセンだより

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

4月のテーマ

“夢を大きく育てよう”

(実践方法)

- 入学、進学、就職を家族そろって祝い明るい希望を持たせよう。
- 就職する子どもと職場における心がまえについて話し合おう。

伊方町レクリエーション・バレーボール交流大会

3月12日(日)、平成17年度伊方町レクリエーション・バレーボール交流大会が伊方スポーツセンターにおいて開催されました。

この大会は町内の女性スポーツ愛好者が一堂に会し、生涯スポーツの振興と自己の健康づくりを図るとともに女性パワーを発揮し、コミュニケーション作りを寄与するため、町教育委員会が開催したものです。
町内10チーム(伊方地域4チーム・瀬戸地域3チーム・三崎

地域3チーム)が2ブロックに分かれリーグ戦を行い、各ブロックの成績上位2チームによる決勝トーナメントを行いました。

各チームとも、それぞれの地域において年間を通じて週2回程度は練習していることもあり、非常にレベルの高い大会となりました。
選手の皆さんは、心地よい汗と交流の輪を広め楽しい一日となりました。

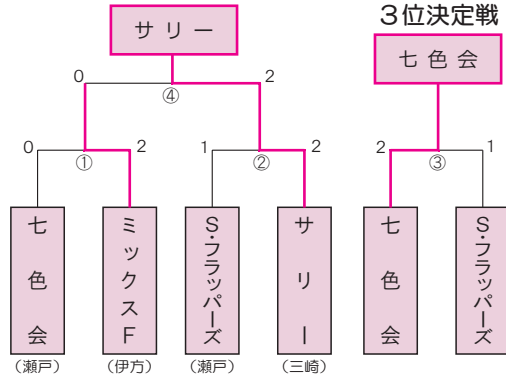


選手宣誓 青山美里さん(伊方)



優勝チーム サリ=(三崎)

★決勝トーナメント



受け継いだ裂織り文化

ここに岬開く!



政木吉春さん(湊浦)

地域伝統文化功労者表彰

湊浦の織物職人政木吉春さん(80歳)が、四国で佐田岬半島にのみ遺されていた裂織りの製作技術を継承・発展させた功績で、平成17年度地域伝統文化功労者として表彰されました。

同賞は、文化庁所管の公益法人財団伝統文化活性化国民協

会(会長平山郁夫)が毎年選考しているもので、政木さんは今年度選ばれた21件の団体・個人の中の一人、愛媛県では唯一の受賞です。

ツツレ・オリコ・ニズリ：半島共通の誇るべき文化、今後大切に受け継ぎたいですね。

公民館だより

老人大学閉講式

町見公民館

7月に開講した九町老人大学(九町地区)と、亀ヶ池老人大学(二見地区)の両大学ともに、予定していた年間4回の活動を終えました。最後の閉講式の内容を紹介いたします。

亀ヶ池老人大学では、2月23日(木)二見公民館で、愛媛県歴史文化博物館の主任学芸員の大本敬久先生を講師に招き、『民族の知恵を見直す―郷土・伝統の再発見―』と題して講話をいただきました。大本先生は、民族の定義・分類・学び・変容・現在から未来という内容の話をされ、文化を見直すことで郷土の伝統文化を再発見し、郷土人としての責務として民族文化を記録・継承することが大事であること。そのための施設として伊方には町見郷土館という立派な施設があるので、そこを中心に伊方の伝統文化を継承することができると話された。先生の話は、身近な文化、衣食住から出産・育児・娯楽・祭り・先祖祭祀をわかりやすく解説し、学級生を引きつけるような内容であり、学級生は熱心に聞き入っていました。

九町老人大学では、2月25日(土)町見公民館で、町見歯科診療所長の宇都宮久記先生を講師に招き『食べる楽しみいつまでもよく噛んで認知症予防』と題して講話をいただきました。



宇都宮先生は、色々な歯の病気の症例を紹介して、歯の健康を保つことが体や脳の健康を保つことにつながる事をわかりやすく説明されました。また、そのための予防法の説明もあり、参加者は自分の健康のため熱心に学習していました。開会前には、町の保健センターのご協力により健康相談を実施していただいたり、講話の後はお楽しみ演芸大会を行い、各支部から歌や踊り等の腕自慢十一人が出演され、有意義で楽しい閉講式となりました。

そもそもこの老人大学は、それぞれの地域の高齢者を対象にして、共同学習による積極的な社会参加、会員相互の融和と親睦を目的に開催してきたものです。

来年度も、より一層充実した内容を検討していきたいと思っております。

難しいけど、ぜひ必要になる相続!! 相続セミナー (紅梅・婦人学級)

中央公民館

3月6日、女性を対象とした学習講座の紅梅学級と婦人学級が合同で、地元湊浦出身の相続カウンセラー梶田敦子先生を講師に招き『幸せな相続のための5つのステップ』と題して相続に関する研修を行いました。興味はあるが実際には難しいそうで、人にも聞きにくく、だけどいつかは必要になる相続について、梶田先生は、実例をあげながら分かりやすく説明して下さいました。そして最後に先生は、『相続は家を建てるようなもので、家を建てる場合、どんな土地かを

調査し、どんな家が欲しいか考え、他の家族の意見を取り入れ、設計士が設計図を描き、各専門家(大工、水道屋等)が集まり設計図どおりの家を建てるように、相続の場合も、どんな財産があるか調査し、誰が何を相続したかを考え、他の相続人の意見も取り入れ、相続カウンセラーが専門家(司法書士、税理士等)と共に設計図を描き、各専門家が集まり遺産を設計図どおりに分ける手続きを実行する。』とおっしゃっていました。



■相続カウンセラー
相談者の問題点を整理し、必要な専門家を取りまとめることで相続の総合窓口の役割を果たす。

精神集中して写経に挑戦!

瀬戸公民館

瀬戸公民館では、昨年引き続き「毛筆教室」を開催しています。毎月2回、講師の先生の指導を受けながら、受講生14名は「きれいな字を書きたい」の想いを胸に練習に励んできました。今年が目玉はなんと『写経』です。般若心経276文字の心を込めて筆を走らせます。完成に要する時間は約2時間。自宅での練習の成果もあってすばらしい作品ができあがりました。

それぞれ個性があり、講師の先生からも、お褒めの言葉をいただきました。

3月末まで、町民センターのロビーに展示しています



ので、力作の「般若心経」を是非ご覧下さい。

ピカ!

一年生




黒川貴章さん 亀井俊志さん 尾崎拓哉さん 岡村友空さん

伊方小学校23名



三好巧起さん 松岡慎之介さん 田縁大晴さん 高橋秀和さん 末光 大さん 新見優斗さん 近藤俊一郎さん 近藤修真さん



川上ほのかさん 小笠原裕さん 戎 優香さん 宇都宮 星さん 青野涼音さん 渡邊航平さん 山口慧士さん 矢野優太郎さん



黒田徳美さん 菊池優那さん 菊池みゆきさん 中田幸貴さん

水ヶ浦小学校6名



吉本真白留さん 西森千紘さん 中川姫奈さん



井村千恵さん 林 謙太郎さん 野村竜雅さん 大橋周平さん

九町小学校6名



井上七海さん

豊之浦小学校1名



向 芹菜さん



中藤桃華さん



山田菜月さん 守田 蘭さん 古田梨乃さん 谷口若菜さん 是澤 新さん

二見小学校5名



山口千智さん 久世彩可さん



山内天清さん 神野優樹さん 大谷一雅さん 井上巧さん

三机小学校 9名



是澤悠羅さん

大久小学校 9名



阿部翔志さん

塩成小学校 1名



詰石端菜さん



小松理奈さん



上田あずなさん



井上晴賀さん



米田和磨さん



村上真帆さん



古澤優花さん



久世若菜さん



亀井涼香さん



三好泰生さん



浜本龍也さん



西川雄大さん



佐々木翔さん



門田 繭さん



宇都宮渚紗さん



井上香澄さん



榎垣直之さん



清家 和樹さん



小田陽大さん



宇都宮 吉さん

三崎小学校 10名



西川清也さん

二名津小学校 7名



山下二千歩さん



田中友彬さん



島崎麻生さん

佐田岬小学校 3名



山崎有稀さん



向井小牧さん



濱中真優さん

平成18年度の町内小学校に入学する新一年生は11校で80名(予定)です。保護者の皆さん4月10日の入学式の準備は調っていますか！子どもたちの小さな胸は期待と不安でいっぱい。家庭や地域で支え合い、仲良く元気に登校できるよう見守って下さい。



梶原知夏さん



垣内麻里さん



荒川奈美さん



山西亮さん



古田拓海さん



平尾海斗さん

学級・講座の受講生募集

町内地区公民館では様々な学級・講座を開催します。
どなたでも、あなたの「学びたい」気持ちをサポートします。
新しい自分を発見する第一歩を踏み出してみませんか！



【中央公民館】

教室・講座名	学 習 内 容	実施回数	実施時間	対 象 者	備 考
婦 人 学 級	住みよいふる里・明るい家庭づくりのため、楽しく学びながら友達の輪を広げる学級です。	年4回	13:00~15:30	概ね50歳までの成人女性	受講料無料 材料代実費
紅 梅 学 級	自分たちの為の学習メニューを立て、心豊かな人生を送るため、楽しく学べる学級です。	年4回	13:30~15:30	概ね50歳~65歳までの成人女性	受講料無料 材料費実費
平 成 大 学	大正・昭和の青年が交流を深め、健康で生きがいのある生活を送るための大学を開講します。	年4回	13:30~15:30	65歳以上の高齢者	受講料無料 材料費実費
ペン習字教室	“手紙が書きたくなってくる” もう一度メールではなくあなたの文字を書いてみませんか。	年6回	19:00~20:30	一般成人	受講料 500円/回 材料費実費
陶 芸 教 室	心静かに作るもよし、お喋りしながら作るもよし、世界に一つだけのあなたの作品をつくってみませんか。	月2回	10:00~12:00 13:00~15:00	一般成人	受講料 1,000円/月
中 央 教 室 (随 時 募 集)	以前から春・夏休み中に実施していた『いかたおえかきひろば』に加え、時季に応じて親子・男性の料理教室や子ども俳句・もちつきなどetc.	通 年 (詳細未定)	未 定	制 限 無 し	受講料無料 材料費実費

★お申込み、お問い合わせは中央公民館までご連絡ください。(TEL 38-1020)

★受講希望者が少ない場合は、講座の開催ができない場合がありますのでご了承ください。

【町見公民館】

教室・講座名	学 習 内 容	実施回数	実施時間	対 象 者	備 考
ミセススクール	多様化する女性の学習要求に応え、楽しく学べる学級です。 身近な問題等について学習します	年4回	19:00~20:00	町見地区在住の一般女性	受講料無料 材料代実費
九町老人大学	高齢者が自ら生きがいを求め「共同学習」を展開し、潤いある地域社会づくり、積極的な社会参加を図ります。	年4回	企画会で協議	九町地区在住の高齢者	受講料無料 材料費実費
亀ヶ池老人大学	高齢者が自ら生きがいを求め「共同学習」を展開し、潤いある地域社会づくり、積極的な社会参加を図ります。	年4回	企画会で協議	二見地区在住の高齢者	受講料無料 材料費実費
ペン習字教室	文字はあなたの第一印象を決めてしまう事もあります。 美しい文字を是非一日も早く身につけましょう	年6回	19:00~20:30 (時間変更あり)	一般成人	受講料 500円/回 材料費実費

★お申込み、お問い合わせは町見公民館までご連絡ください。(TEL 39-0212)

★受講希望者が少ない場合は、講座の開催ができない場合がありますのでご了承ください。

【瀬戸公民館】

教室・講座名	学 習 内 容	実施回数	実施時間	対 象 者	備 考
男性料理教室	料理を基本から学び、健康で楽しい食生活を目指しましょう。	月1回	17:00~20:00	成人男性	受講料無料 材料費 1,000円/回
絵手紙教室	「ヘタでいい。」それが合言葉。きっと違った自分が見つけたせますヨ。	月2回	19:00~21:00	制限なし	受講料 350円/月 材料費実費
生け花教室	四季折々の花を生けて、心を落ち着けてみませんか。	月1回	19:00~21:00	制限なし	材料費1,000円 程度/回 (講師料込み)
アレンジ教室	基本のアレンジから遊び心あふれるアレンジまで楽しみながら上達できます。	月1回	19:00~21:00	制限なし	材料費 2,000円程度/回 (講師料込み)
毛筆教室	大文字・小文字、いろいろな文字に挑戦してみよう!	月2回	19:00~21:00	制限なし	受講料 500円/月 材料費実費
味噌づくり教室	おふくろの味「みそ汁」を、自家製の味噌で作ろう!	11月下旬 4日間程度	18:00~20:00	制限なし	受講料 1,500円/年 材料費実費
牛鬼の頭づくり教室	好評! あなたも「世界で1つだけの牛鬼」を作ってみませんか!	年10回 程度	19:00~21:00	制限なし	受講料 3,000円/年 材料費実費
ヨガ教室	心と体をリフレッシュ!今ブームのヨガに挑戦。	年5回	19:00~21:00	制限なし	未 定

★お申込、お問い合わせは瀬戸公民館までご連絡ください。(TEL57-2111)

★材料費は、受講者負担となります。

★受講希望者が少ない場合は、講座の開催ができない場合がありますのでご了承ください。

【三崎公民館】

教室・講座名	学 習 内 容	実施回数	実施時間	対 象 者	備 考
手話教室	一人でも多くの方に手話のコミュニケーションの楽しさを知ってもらい、積極的に障害者の人たちとの交流を深める。	月2回	13:30~15:00 19:30~21:00	小学生以上	受講料無料 材料費実費
英会話教室	英語指導助手を講師として、簡単な英会話ができるように指導してもらう。	週1回	19:30~20:00	高校生以上	受講料無料 材料費実費
女性講座	女性が社会参加に努めていくうえで必要な知識や具体的な活動の在り方等について研修を行う。	年7回	13:30~15:30	50歳以上の女性	受講料無料 材料費実費
生活学校	女性の地位・社会的能力を高めるため、趣味・教養・健康等に関する学習を行う。	年7回	13:30~15:30	30歳以上の女性	受講料無料 材料費実費
バランスボール教室	姿勢も良くなるバランスボール及び筋力トレーニングの基本を習得する。	週1回	19:30~20:30	一般成人男女	受講料 500円/回 材料費実費

★お申込み、お問い合わせは三崎公民館までご連絡ください。(TEL54-1111)

★受講希望者が少ない場合は、講座の開催ができない場合がありますのでご了承ください。



学校通信

健全育成会お別れ遠足

豊之浦小学校

本校では、十数年前より、健全育成会主催でお別れ遠足を実施しています。

今年度は、3月4日にバスで松山のスケート場に行きました。土曜日の上、オリンピック人気もあってか、たくさんの人で混雑していました。

4年ぶりということ、半数近くの児童が初体験ということでしたが、2時間余りの練習でほとんどの児童が滑れるようになりました。中には、ジャンプや回転、イナバウアーに挑戦する児童もいました。

それに比べて、保護者や先生方は、手すり磨きに専念される方もいたようです。子ども達の適応力のすごさに改めて感心させられました。



楽しみ、有意義な一日を過ごすことができました。これもひとえに、中川育成会長さんをはじめとする健全育成会の方々のおかげと感謝しております。

ふるさと、人に感謝

大久小学校

大久小学校の総合的な学習の時間のテーマは「ふるさと大好き」です。

児童は地域の自然、環境、昔の生活等について地域の方からたくさんのお話を学びました。これらの活動を通して地域を大切に思い、教えてもらえる喜びも体験しています。

花いっぱい運動では、学校に來られる人にも楽しんでもらうと、ペチュニア、ひまわり、サルビア等季節の花を育ててき

ました。今は、6年生に感謝の気持ちを込めて、卒業式の会場を育てた花で飾ることができるようにとデージー、ビオラ、プリムラを育てています。10月に種まきをして、今、つぼみがたくさんついていきます。小さな種から芽が出て、つぼみから花が咲く過程に感動しながら世話をすることができました。

これらの活動から得たことを3月の参観日に発表しようとして、準備を頑張っているところです。

開校一年目

佐田岬小学校

新伊方町の発足と同時に佐田岬小学校が開校になりました。児童三十七名、教職員九名の新しい出会いの学校です。

男女揃った学級で、会話や活動も弾み、わくわくどきどきでスタートしました。早いものでもう一年経とうとしています。

子ども達がまず悦んだのは体育館ができたこと。雨の日の体育やバスケット練習に汗を流せます。地域挙げての学芸会も盛り上がりました。それに念願だっ

た給食が始まりました。慣れるまでは手作りの弁当に愛着があったけれど偏食等も少しずつ改善されて毎日の献立が楽しみになってきました。

串・正野小の伝統を継承し地域と一体になり、新しい思い出を作ってきました。

「友達ができてよかった。」こう言ってくれた五年生を中心に、また新しいページを拓いていきます。



伊方スポーツセンターだより

ストレッチポール無料体験会 4月6日(木) 19:00 ~ 19:30



- ◆対象者 一般成人男女(学生可)
- ◆会場 伊方スポーツセンター
- ◆定員 10名
- ◆受講料 無料
- ◆申込先 伊方スポーツセンター事務所
TEL 38-1100 TEL 38-0776 (FAX 兼)
- ◆注意点 首や腰の障害や背骨の病気が及び骨粗鬆症傾向の人は、医師または専門家にご相談の上、受講してください。

● 詳しいお問い合わせは、下記にご連絡下さい。
 伊方町役場(生涯学習課) ☎ 38-2661
 伊方スポーツセンター ☎ 38-1100 ☎ 38-0776

町内陶芸愛好者の力作を展示 森元数茂(丈山窯)氏特別出展

伊方町生涯学習センターでは、我が国の伝統文化である陶芸の作品展を4階杜氏資料館隣の企画展示室で展示しています。

初心者からベテランの方の作品出展依頼したところ、土を練り、色を付け心静かに没頭してできあがった力作を46名の方から85点を出展をいただきました。

伊方陶芸教室に毎月指導している、砥部町在住の森元数茂氏(陶芸家・伊方町出身)の作品も特別出展いただき花を添えています。

皆さんも是非この機会に作品をご覧いただき、陶芸に親しんでみてください。

- 展示期間 平成18年3月15日(水)~平成18年4月30日(日)
- 展示場所 伊方町生涯学習センター 4F 企画展示室
- 出展団体 伊方陶芸教室(連絡先:中央公民館
電話 0894-38-1020)
瀬戸陶芸会 (連絡先:瀬戸公民館
電話 0894-57-2111)
三崎陶芸会 (代表者:三崎 山口昌子)
おりべの会 (代表者:三崎 宇藤治代)



一足早く春爛漫 生け花発表会(遊の会)

3月5日(日)、中央公民館において、「遊の会」による生け花の発表会が催されました。会場に所せましと挿けられた花に多勢の人達が集まり、花の美しい色合いや甘い薫りを楽しみ、公民館も華やいだ一日となりました。



いかた女性塾 塾生募集!

地域における男女共同参画社会づくりを進めるため、地域に密着した学習及び調査研究を行う女性塾を開催することにより、人材の育成を図っています。

● 伊方町議会の傍聴
● 男女共同参画社会づくりに関する諸会に出席
● 福祉ボランティア

◎ 対象者 町内在住の成人女性

◎ 申込締切日 平成18年4月末日

◎ 申込・問合せ先 生涯学習課 ☎ 38-0211

皆さんの参加を塾生一同お待ちしております。

◎ 今年度の主な事業予定

- ・ 日本女性会議2006 しものせき参加
- ・ 昔の遊び(お手玉、羽根つき等) 文化伝承

やるぞ!!



好評開催中!

町見郷土館企画展

「佐田家の食卓」

—ちょっと昔の半島食べ物事情—

2月25日(土)～5月7日(日)

◆今月のきょうどかん◆

2006年 4月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

■—おやすみ
休館日は都合により、変更する場合があります。

TEL・FAX 39-0241
(不在の場合)
38-2661 生涯学習課
開館時間 9:30～16:30
休館 月ほか

「むかしのおやつパーティー」盛会!



3月4日、開催中の『佐田家の食卓』展関連行事「むかしのおやつパーティー」、一般参加の親子と佐田岬みつけ隊が集まり、手作りのイモモチ・カンコロなど作って大好評でした!当日の調理風景写真で作った料理のレシピを企画展会場で配布しています!

町見郷土館から

幻の九町池

佐田岬半島には、亀ヶ池(加周池)や阿弥陀池と同じく、リアス式海岸の入り江が徐々に塞がってできた池(潟湖)がもうひとつあります。今や埋め立てられ忘れ去られつつある九町池です。最近この池について調べる機会があったので、整理しておきましょう。

近くの亀ヶ池と違い、九町池が記録に出ることはほとんどありません。管見の初出は、文化五年(一八〇八)に四国に測量にきた伊能忠敬の一行が後に製作した「伊能大図」。そこに描かれた佐田岬半島には、池の名前こそありませんが、阿弥陀池や亀ヶ池と並んで九町池もしっかりと描かれていました。

時は流れ、明治四五年の『町見村郷土誌』には、「九町池ハ周囲三町余面積尅町参反歩アリ水浅クシテニメートルニ足ラス僅ニ灌田ニ供スルモ利スル所少ナシ従来魚族繁殖シ養

佐田岬民俗ノート 11

魚場ニ適セシモ近來九町鑛山ヨリ鑛毒水溢出シ為メニ魚族全滅セリ幸水浅キヲ以テ埋立ノ計畫中ナリ」とあります。

なんと、九町鉾山「明治二三年開坑—大正一〇年休山」の影響で魚が全滅、当時すでに埋め立て計画もあったそうです。

しかし池は復活します。昭和四三年の『伊方町誌』には「九町池は須賀にあり周囲〇・五キロメートル、面積一・一ヘクタールで、浅く、池というより沼に近いものである。昔は多くの魚類がいたらしいが九町鉾山の鉾毒水が流れ込んだため一時全滅したが、今はぼらやうなぎ



九町池の跡地で稀少植物を保護する小学生たち (2006年3月9日撮影)

がいます。」とあって、魚が戻ったようです!

暮らしぶりが変化した昭和四六年、九町池は不燃物と焼却灰の処分地として徐々に埋め立てられ、処分地がアラカヤに移った昭和六二年前、現在のようには整地され、グラウンドに利用されてきました。

半島の近現代史を背負った幻の池—今年の三月九日、地元の子供たちが池跡地の稀少植物を亀ヶ池のピオトープに移しました。九町池は小さな二度目の復活を果たそうとしたのかもしれない。



伊方町立図書館



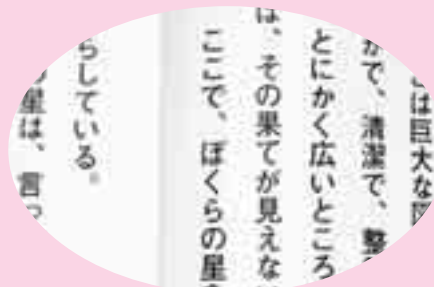
大活字本!!

「本は読みたいけれど、小さい字を読むのが嫌で」「老眼だから、活字が読みづらい」という声をよく耳にします。

図書館には、目の不自由な方のために大きな活字の本をおいています。この本は一般に売られている本の文字サイズより1.5倍から3倍近くも大きくなっていて、たいへん読みやすくなっています。

貸出しもしていますので、ぜひ、ご利用ください。

大活字本の文字サイズ



今月の新刊

- 0~24カ月はじめての育児 / 草川 功 監修
- 知っているようで知らない消費税 / 野口悠紀雄 著
- 皇族に生まれて秩父宮随筆集 / 秩父宮雍仁親王 著
- 愛媛年鑑2006
- もっと歩こう! / 大島 清 著
- おとなの小論文教室。 / 山用ズーニー 著
- パズルでめぐる奇妙な数学ワールド /
イアン・スチュアート 著 伊藤文英 訳
- 沖で待つ / 絲山秋子 著
- 哀しみの終着駅 / 赤川次郎 著
- 国定忠治 / 津本 陽 著
- 夢がかなう日
~モーグルスキーヤー上村愛子物語~ / 山石やすこ 文
- CDできく日本昔ばなし1ももたろう /
西本鶏介 文・長谷川知子 絵 ほか



利用案内

- 開館日 / 火曜日~日曜日
午前9時30分~午後6時
- 休館日 / 毎週月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日も)
祝日・月末図書整理日・年末年始(12月29日から1月3日)・蔵書点検日

伊方町立図書館

伊方町湊浦1992番地
伊方町生涯学習センター2階
TEL(0894)38-0607 FAX (0894)38-0617
瀬戸町民センター・三崎公民館にて図書の返却のみ可能。

4月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

■…休館日



ピッパスおはなし会のごあんない

今年度のおはなし会は3月25日で終了しました。
来年度もおはなし会を行いますので、お楽しみに!!





人権学習シリーズ 196

平成17年度 地区別人権・同和教育懇談会を振り返って

教育委員会生涯学習課

平成17年度地区別人権・同和教育懇談会の出席状況は、男性748名、女性543名、合計1,291名の参加があり、出席率は10.1%でした。

今年度は地域別にビデオ教材をかえて実施しました。伊方地域では「そっとしておけば…寝た子を起こすなという考え方」瀬戸地域では「風かよう道―身近にある差別の根元を考える―」三崎地域では「人権ショートストーリー―山本家の場合―」という教材を多く使用しました。

伊方地域での「そっとしておけば…寝た子を起こすなという考え方」については、依然として「そっとしておけば自然に差別は無くなる」という考え方、知らない者にまで、教えることにより、かえて差別が広がるのではという意見が多くありました。

1871年、明治4年のいわゆる「解放令」から130年を経た今日も、なお部落差別が存在しているのは、「寝た子を正しく起こさなかった」ことが、大きな要因になっていること。先入観や予断・偏見は心の中に深く潜在しており、いったん自分の身近なところで結婚、就職などの利害関係が起こったとき、差別が生じています。「寝た子を起こすな」という考え方は、人権意識を眠らせ差別を温存し、次の世代に残してしまうことになり、同和教育の解決には何ら結びつかないという基本的なことを理解していただくものであります。

次に瀬戸地域では「風かよう道」についてIT革命の新世紀、家庭内での同和教育問題、世間体にこだわる、古い因習にこだわる、迷信と占いという5つの柱により話し合いを進めました。

どの地区も5つの柱をもとに、活発な話し合いが出来ていたように思いました。しかしながら、六曜などの迷信と部落差別のかかわりについて、どう関係しているのかと疑問を持っている人が多くいました。

部落差別は、他の日本社会の問題と無関係に存在するのではなく、広く日本社会のあらゆる非科学的、非合理的な迷信や因襲や、社会のしきたり、それらを温存し助長する頑固で保守的な社会意識の、集約的実態として存在しています。

一般的な社会差別やしきたりを知り、それに染まることによって部落差別を知り、社会意識としての、部落に対する偏見や差別意識を持つようになるのです。大安・仏滅といった日の吉凶が、根拠のないものであることは知られるようになりましたが、自分の家族・親族の結婚・葬儀に際してはどうでしょうか。その日取りを決めるようになると、その日の吉凶が気になり「仏滅の日はだめ」「友引の日はだめ」などという行動をとる人が多数います。

迷信と部落差別は直接は結びつきませんが、自分の身に

及んだ場合にとる行動、心のはたらきはよく似ています。とくにふだんは気にせず生活しているのに、何かごとがあると世間のならわし・しきたりに同調しようとして、急に調べたりする心のはたらきという点では、同じものだといえます。

普段当たり前と思っている事の中に差別、偏見がひそんでいる、と気づくことができる教材でありましたが、参加者の皆さんに、それが伝わっていなかった点が反省点であったと思います。

次に三崎地域では「人権ショートストーリー―山本家の場合―」については、男女平等の日、仏滅鬼門、縁談と釣書、親子の友情の4本の柱により、話し合いをすすめました。同和教育に直接関わる問題ではなく、身近に存在する人権についての題材で話しやすかったという意見が多くありました。

三崎地域でも「寝た子を起こすな論」や「六曜」についても同様な意見がありましたので、ここでは省略します。

全体を通して、各地域での取り組み状況が違う中、旧伊方地域のやり方を瀬戸、三崎地域にも広めるために、初年度は地域ごとに推進員の研修会を行うとともに、行政職員も各地区での企画会等への参画をお願いしたところでありました。しかしながら、各地区の懇談会では、実際にうまく話を引き出すことのできた地区も多くありましたが、方向付けや、ねらい等がうまくつたわっていませんでした。

事務局としましては事前研修会において参加者全員が共通認識を持って実践できるよう今後は努めていきたいと考えております。

年に1回ということで、継続性や段階を求めるということが難しい現状がありますが、これまでの地区懇談会がつづけられる中で、確実に人権感覚や意識は高まっていると思います。

各地域が足並みを揃え、新伊方町では、同和教育をはじめあらゆる差別の撤廃と人権文化の花開く社会の実現のために、今後も粘り強く、人権・同和教育懇談会を推進していきたいと考えておりますので、ご協力をお願いします。



(地区別人権同和教育懇談会―大久地区―)

報 文 芸

俳 句

町見野の花句会

躑すきて春泥の道二人づれ 松田紋司朗
 春立つや閉講の座に安木節 上口久志
 火の神に奉納相撲春浅し 上田文男
 春祭幟^{のぼり}担げば我氏子 浜田保仁
 勞られながら孫子と家の春 山口あさ子
 花屑の吹き入る嶺の地藏堂 古田かずゑ
 鈴鳴らし四温の山を犬走る 古田しを
 プランコに風と残る子母を呼ぶ 岩見愛子
 観劇や子と待合はず花の駅 菊池あつ子
 装いを替えてもみだし春めけり 大沢昭子
 星と燈ときらめき合うや春岬 林そで子
 郵便夫のバイク素通り春隣 川縁秀子

瀬戸句会

強き鬼求めて春の世相かな 丸川一彦
 土に書く妻の名彼岸参りかな 長尾金満
 もがり笛気になる窓の受験生 佐々木サチ子
 みかん採りしむ夕日の下り坂 佐々木忠雄
 嫁連れて挨拶まわり梅匂ふ 浅井ミドリ
 凍空に一筋流る飛行雲 大星幸子
 春風にデラチン室のガンセンター 吉見福子
 世の中の暗いニュースや春寒き 吉上マツエ
 菜の花や小川の水もゆるやかに 小関秀次
 冬風きて遠き漁火見えかくれ 本田光男
 虫の出る雷浴びてフェリー散る 井上幸子

さぎなみ句会

きょうだいよやはり会いたい 結城励子
 彼岸かな 木村松代
 美しき松の入口に因^{ちな}む名を 年新た茨の道に門出かな 高茂ヒロ子
 大き目に字を書く母の日の手紙 大谷 勉
 今朝も雨行き来の野辺の緑増す 石田 満
 太鼓^{たいこ}西風^{にし}長い岬の大風車 谷口ハナエ
 うぐいすの初音うれしきみかんとり 中谷はる子
 歯止めなき過疎のふるさと寒七星 中谷段々子
 蛇穴を出つや投票多きまぢ 中谷段々子
 あの辺り校庭もあり霞かな 宮本マサ子
 増築の老いの明るし春障子 松本光女
 紅梅や寒さぬくさをくり返し 宮部タミエ
 すいせん花哀愁深し老女嘆く 今川キクエ
 桃咲みてやさしきひとに出会ひけり 大谷 勉
 陽炎える窓に亡夫の顔見ゆる 阿部八重
 お彼岸や先立つ子らの待つ墓に 中村 豊
 老体も春を感じてさあやるぞ 石田 満

川 柳

伊方町川柳会

筆とどく卒業証書向かう日に 井上 靖
 風花や三寒四温とは言へど 竹上正也
 岬の野若葉芽を吹く春だより 川口篤夫
 待ちわびて千本桜乱れ咲く 神原貞規
 水仙の花を巡ってかくれんぼ 山内 徹
 風無くばやさしさ伝うおとこ傘 葉月 渚
 日ながな一日炬燵抱えて垂れ海鼠 大川昇太
 腰痛く甘柑重しだがやるぞ 今川又一
 今日限り廃校の門桜咲き 小西紀代子
 春雪の解けておだやか貝を掘る 山内良子
 夕映えの故郷の峯に春の雪 山内須磨子
 平和よな季節まちがえ咲く桜 丸川一彦
 孫が来て片言まじりの春炬燵 佐々木サチ子
 梅匂ふ部屋にこもりて句をみがく 浅井ミドリ
 雲一つ枯れ木一本天の時 小西康代
 初詣友に私に桜咲け 中井美歩
 水餅を浸けて小さな旅に出る 笹田吉子
 春雨に彼岸桜は走り咲き 吉上マツエ

山に行くいつもひとりのつくしんぼ 谷口ハナエ
 廃校のさみしきみかんよる小窓 中谷はる子
 銭^{ぜに}かけず動くものとは地震だ 上田文男
 新入りの猫どつかりと主人^{あに}席 矢野佐一郎
 春となり着ぶくれ媪の忘れ傘 池田君子
 灯油高気にしながらも暖をとる 菊池真志江
 人の息白くくもらすバスの窓 木戸恵津子
 花粉症マスク外して大くしゃみ 篠川佳津子
 風邪引きて高い^い苺に手が届く 松坂正子
 町選挙ことに目が肥ゆ有権者 門田千枝
 引きぬかれいても大根花開く 梶谷芳泉

